

末梢血液像のご案内

当センターの末梢血液像検査は、自動機械法（フローサイトメトリー法）と鏡検法（目視）の2種類があります。検査の目的に応じてご依頼ください。

1. 自動機械法（15点）

自動血球計数装置を使用し、白血球分画のスクリーニングを行います。

2. 鏡検法（25点）

白血球分画に加え、血球の形態異常や異常細胞の有無を血球塗抹標本で確認します。

検査健診センターにおける追加検査

検査結果が基準値外の場合、下記の検査を追加します。追加料金は発生しません。

○ 自動機械法にて基準値外

鏡検法を実施します。

○ 血算5種（末梢血液一般検査）のみご依頼時

白血球が高値・低値の場合・・・ 鏡検法で白血球分画を確認します。

赤血球・血小板が異常値の場合・・・ 形態確認を実施します。

※ 基準値外とは、異常値や異常細胞が疑われる場合を指します。

至急検査の対応について

至急検査をご希望の場合、依頼書の「至急」欄にチェックを入れてください。

検体到着後、約30～60分以内に結果をFAXまたは電話でご報告します。

夕方以降の対応（17時以降に検体到着の場合）

○ 当日報告可能

血算5種、自動機械法で基準値外がない場合

○ 翌朝報告

上記以外と鏡検法

※ 血球塗抹標本は当日に作成するため、細胞変性の影響はほとんどありません。